

富士見市内の坂

富士見市の地形は武蔵野台地と荒川低地に二分されます。台地の縁辺部では小河川の侵食により、起伏に富んだ複雑な地形になっています。そして昔から伝えられる七沢(上沢・羽沢・関沢・柿沢・権平沢・唐沢・南沢)の言葉が示すとおり、多くの谷が入り組んでいたことがうかがえます。この地形は、古くから生活用水に使われた湧き水など多くの恩恵をもたらす一方、斜面には数々の坂道が形成されました。今回は市内の坂をいくつか紹介します。

【ギンパ坂】

上沢の交差点からふじみ野市苗間方向に向かって下る坂道のことを「ギンパ坂」または「ギンバ坂」といいます。現在では緩やかな傾斜ですが、県道になる以前は急な坂道でした。この坂の近くで馬喰(牛馬の売買・仲介をする人)をしていた「銀八さん」の名前にちなんで地元ではこの名で呼ばれていたそうです。



ギンパ坂

【土橋坂】

鶴瀬駅前交差点から谷津の森の西側を通る県道の緩やかな坂道のことをいいます。坂の下を流れる権平川にかかる土橋へと通じる坂ということで「土橋の坂」と呼ばれて

いました。また、坂道の中腹に馬車を引く馬方の仕事をしていた「万兵衛」という人が住んでおり、暴れ馬を上手に扱うことで有名だったことから「万兵衛坂」とも呼ばれました。

【尻たれ坂】

下鶴馬の水川神社から富士見台中学校へ向かって下る坂道のことをいいます。南畑方面から鶴瀬駅へ牛車や手車で荷物を積んで坂を登るのが困難で、尻が垂れ下がるように登れないほどであったことから、こう呼ばれるようになったといわれています。また坂の上に水川神社が位置していることから「宮坂」とも呼ばれています。

ほかにも市内には多くの坂があり、その名前からも人々の生活と密接につながっていたことがわかります。名前の由来について考えながら歩いてみると坂道も楽しめるのではないのでしょうか。



尻たれ坂



土橋坂



問合せ／生涯学習課 ☎ 637

Young 21



こいわ しゅん 小岩 駿さん
南畑小学校 1年



|| 先生から一言 ||
ひもを結ぶのをがんばりましたね。アサガオがすてきなリースに大変身!

題「あさがおのリース」



すがわら まよ 菅原 真陽さん
水谷中学校 3年



|| 先生から一言 ||
さまざまな心の変化を抽象形で表現しました。工夫と意欲を感じる作品です。

題「心の表現」

人口と世帯数

(11月1日現在) 人口… 107,851人 (前月比 +46人)
男 53,951人 (前月比 +39人)
女 53,900人 (前月比 +7人)

世帯数… 47,040世帯 (前月比 +39世帯)

●編集 総務部秘書広報課 ●発行 富士見市(月1回1日発行)

〒354-8511 富士見市大字鶴馬1800番地の1

☎049-251-2711

市ホームページ <http://www.city.fujimi.saitama.jp>

携帯版アドレス <http://www.city.fujimi.saitama.jp/mobile>



携帯版

再生紙使用

広報『ふじみ』は市ホームページでもご覧になれます。また、声の広報『ふじみ』を音声で聴くこともできます。